

講義科目名称： 日本国憲法

授業コード： 1014A

英文科目名称： Japanese Constitution

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位 (2-0)	選択必修科目（教養教育一般科目）
担当教員			
織原 保尚			
授業形態：講義	ナンバリング：英 SSS121601	ナンバリング：保 SSS111601	
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	[テーマ] 憲法についての基礎的な知識を身につけます。 [到達目標] 知識・理解の観点：日本国憲法の原理および学説について基本的知識を身につける。 技能の観点：判例や新聞記事の内容について意見を述べることができる。 態度の観点：憲法の観点から、社会問題について関心を持つことができる。		
授業の概要	憲法は、私たち国民自身が制定する法です。ですから、その内容について知ることは、市民として必要なことといえます。 また、憲法は、毎日のニュースとも深く関係があるものです。今日の社会において憲法の役割は、意外と私たちに近いところにあります。私たち自身の問題として、憲法について考えていきましょう。 また、適宜テーマに関連した判例および新聞記事の内容について、学生の皆さんと検討していきます。		
授業計画	第1回	憲法とは何か(イントロダクション) I 法とは II 立憲主義の誕生とその展開 III 日本国憲法の成立 「死刑合憲判決」(最高裁昭和23年3月12日大法廷判決)	
	第2回	事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 基本的人権総論 I 基本的人権の保障 II 基本的人権の種類 III 人権の享有主体性 「バイク自主退学事件」(最高裁平成3年9月3日第3小法廷判決)	
	第3回	事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 統治機構総論 I 統治機構の仕組 II 裁判所 III 内閣 IV 国会	
	第4回	事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 平等原則 I 法の下での平等 II 平等原則違反の判断基準と具体例 「再婚禁止期間訴訟」(最高裁平成27年12月16日大法廷判決)	
	第5回	事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 参政権と議員定数不均衡 I 議員定数不均衡 II 在外日本人選挙権 III 戸別訪問の禁止と連座制 「参議院議員定数不均衡訴訟」(最高裁平成26年11月26日大法廷判決)	
	第6回	事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 表現の自由1ー表現の自由とその重要性 I 表現の自由の意義 II 表現の自由の規制——検閲の禁止—— 「『北方ジャーナル』事件」(最高裁昭和61年6月11日大法廷判決)	
	第7回	事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 表現の自由2ー表現の自由とその制限・内心の自由1ー思想・良心の自由・学問の自由 I 表現の自由の限界 II 表現の自由を規制する立法について 後半は内心の自由	

	I 思想、良心の自由 II 学問の自由 「『エホバの証人』信者剣道授業拒否事件」(最高裁平成8年3月8日第2小法廷判決) 事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 内心の自由2—信教の自由と政教分離 I 信教の自由とその保障 II 政教分離原則 「愛媛県玉串料訴訟」(最高裁平成9年4月2日大法廷判決) 事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 経済活動の自由 I 職業選択の自由 II 規制はどこまで？ 「公衆浴場距離制限事件」(最高裁昭和30年1月26日大法廷判決・最高裁平成元年3月7日第3小法廷判決) 事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 生存権 I 社会権とは II 日本の社会保障制度 III 憲法25条の意味 「朝日訴訟」(最高裁昭和42年5月24日大法廷判決) 事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 教育を受ける権利 I 教育を受ける権利 II 教育権とは 「旭川学テ事件」(最高裁昭和51年5月21日大法廷判決) 事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 労働基本権 I 勤労の権利 II 労働基本権 「全農林警職法事件」(最高裁昭和48年4月25日大法廷判決) 事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 幸福追求権 と新しい人権 I 幸福追求権の意義とその保障範囲 II プライバシーの権利 III 自己決定権 IV 環境権 「『エホバの証人』輸血拒否事件」(最高裁平成12年2月29日第3小法廷判決) 事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 平和主義 I 平和主義の展開——人権の条件としての平和—— II 憲法第9条の解釈 III 日米安保条約と自衛隊 「イラク空自違憲判決」(名古屋高裁平成20年4月17日判決) 事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 憲法改正と授業のまとめ I 憲法改正手続の役割 II 近時の憲法改正をめぐる議論とその問題点 事前準備：教科書の該当箇所等に目を通す(120分) 事後の復習：教科書、レジュメ、参考文献の該当箇所を再度読む(120分) 定期試験
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 2) 情報リテラシーに関する科目 3) ICTの活用 4) 初年次教育 5) 実践的PBL
テキスト	吉田仁美『スタート憲法(第4版)』(2024年・成文堂)
参考書	吉田仁美・渡辺暁彦『憲法判例クロニクル』(2016年・ナカニシヤ出版) 憲法を楽しむ研究会『憲法を楽しむ』(2020年・法律文化社) 荒木尚志・森田宏樹『ポケット六法 令和7年版』(2024年・有斐閣)

評価方法	定期試験によって評価をする予定です。
評価基準	成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) ー：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(英語科) 【○】1. 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 【○】2. 多文化・異文化に関する理解と国際的な視野を身につけている。 【○】3. 「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」、「知識・技能」をはじめ社会人にふさわしい教養および専門分野の基礎力と批判的思考力を身につけている。 【○】4. 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 【○】5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の学位を授与する。 (保育科) 【○】1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 【○】2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。 【○】3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 【○】4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 【○】5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。
履修上の注意	受講希望者は、必ず第1回目の授業に出席してください。
オフィスアワー	授業終了後に随時質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	課題等は希望者には返却します。具体的な指示は授業中に行います。

講義科目名称： 体育一般

授業コード： 1090B

英文科目名称： Physical Education

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期・後期	1年次	2単位 (1-1)	教養教育科目 選択科目
担当教員			
安田 知子			
授業形態：講義・演習	ナンバリング：英PHY1271103／ 保PHY1171103		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】体育・スポーツ、健康の理論と実際 【到達目標】 知識・理解の観点：「体 からだ」について、解剖学的知識（部位や働き）と運動学的知識（動き方）から考えることができる。 技能の観点：解剖学的知識と運動学的知識をもとに自らトレーニングを考え実践できる。 安全管理として一次救命等を実施できる。 態度の観点：グループワークにおいて、それぞれの役割を踏まえて参加することができる [到達目標] 【知識・理解】健康とは何かを理解できる。健康に生きることの重要性について理解できる 【技能】自分たちを取り囲む健康問題に対して、どの様に対処すれば良いのか、何に気をつければ良いのか理解できる。他者とのより深いコミュニケーションの方法を知る事ができる。 【態度】自分自身の人生をより良く生きようとする姿勢を身につける事ができる。		
授業の概要	アクティブラーニング及びPBLの手法を用い、講義（教室）と演習（体育館）を適宜交互に行うことにより、知識と技能を修得する。 1）学校保健安全法における学校検診やスポーツにおけるメディカルチェック等の理論を理解し、実際に体験することにより、体の運動器の構造と機能を学ぶ。 2）体育やスポーツにおける安全管理のための応急手当や健康管理としての食について学ぶ 3）インクルーシブ教育、生涯教育としての体育・スポーツについて学ぶ		
授業計画	第1回 オリエンテーション：健康とは何か？（理論） 1）オリエンテーション これから学ぶ内容の概略についての説明 2）「健康」とは何か？ WHOの定義とスポーツ医学という考え方について 【事前学習】WHOの「健康」の定義について調べる（2時間） 【事後学習】自分自身の健康の意識について考え、レポートを提出する（2時間） 第2回 健康診断①（理論と演習） 運動器検診、スポーツのためのメディカルチェック、新体力テスト、ロコモティブシンドロームについて学ぶ 【事前学習】 学校安全保健法における運動器検診について調べる（2時間） 【事後学習】 学校で行われる運動器検診とスポーツにおいて行われるメディカルチェックの違いについてレポートを提出する（2時間） 第3回 健康診断②（演習） 運動器検診、スポーツのためのメディカルチェック、新体力テスト、ロコモテストを実際に自分の体やクラスメイトの体で確認する 【事前学習】 前回の講義をもとに手順を考え、演習がスムーズに行えるように準備する（2時間） 【事後学習】 計測した結果をまとめてレポートを提出する。（2時間） 第4回 健康診断③（演習） ラジオ体操、ストレッチの、ロコトレの実際を通して、健康習慣について学ぶ 【事前学習】 ラジオ体操の歴史、ロコトレについて調べる（2時間） 【事後学習】 ラジオ体操の歴史の変遷についてレポートを提出する（2時間） 第5回 からだづくり① 生活習慣病について学び、自らの食生活に意識を向ける 【事前学習】 自らの生活習慣、食生活について1週間記録してみる（2時間） 【事後学習】 自らの生活習慣、食生活について1事前に行った記録から考察してみる（2時間） 第6回 からだづくり②（理論） 熱中症の予防と水分補給、食生活について 【事前学習】 熱中症について調べる（2時間） 【事後学習】 熱中症の対策についてレポートを提出する（2時間） コンビニエンスストアで購入できる朝ごはんについて組み立て、レポートを提出する（2時間）		

	第7回	からだづくり③（演習） こどもに必要な体の動き、こどもが学ぶべき「身につけておきたい36の基本動作」（山梨大学 中村和彦学長）を実施する 【事前学習】 こどもが学ぶべき「身につけておきたい36の基本動作」（山梨大学 中村和彦学長）について調べる（2時間） 【事後学習】 組み合わせた運動を考え、グループ発表の準備をする（2時間）
	第8回	からだづくり④（演習） こどもが学ぶべき「身につけておきたい36の基本動作」（山梨大学 中村和彦学長）について学び、組み合わせた運動を作る 【事前学習】 組み合わせた運動を考え、グループ発表の準備をする（2時間） 【事後学習】 グループで発表した「組み合わせて作成した運動」をレポートする（2時間）
	第9回	パラスポーツと生涯スポーツ①（理論） パラリンピックとオリンピックとの種目を比較しながら、障がい者が行うスポーツについて学ぶ 【事前学習】 東京パラリンピックの競技種目について調べる（2時間） 【事後学習】 自分が興味を持った種目について調べ、レポートを提出する（2時間）
	第10回	パラスポーツと生涯スポーツ②（理論） 健康な生活を送るための生涯スポーツについて学ぶ 【事前学習】 生涯スポーツ、ゆるスポーツについて調べる（2時間） 【事後学習】 グループで実施できる生涯スポーツ、ゆるスポーツを考案する
	第11回	パラスポーツと生涯スポーツ③（演習） パラスポーツとしてシッティングバレー、ボッチャを体験する 生涯スポーツの実践として、風船バレー、くつしたま入れ等を体験する 【事前学習】 シッティングバレー、ボッチャについて調べる（2時間） 【事後学習】 そのほかのパラスポーツについて、簡易な実施方法について検討する（2時間）
	第12回	パラスポーツと生涯スポーツ④（演習） グループで新たな生涯スポーツを考え、実施する 【事前学習】 グループにて新しいスポーツを考え、プレゼンテーションの準備をする（2時間） 【事後学習】 実施したスポーツについてまとめ、レポートする（2時間）
	第13回	応急手当①（理論） 応急手当について学ぶ 【事前学習】 身近なけがや病気、過去の体験についてまとめる（2時間） 【事後学習】 身近にあるAEDの設置場所、胸骨圧迫のリズムに合う歌、便利なスマホアプリを調べて、レポートする（2時間）
	第14回	応急手当②（演習） 応急手当の一次救命処置について、消防庁の応急手当webに沿って学習する 【事前学習】 消防庁の応急手当webを視聴し、準備する（2時間） 【事後学習】 応急手当webの修了テストを実施し、修了証を提出する（2時間）
	第15回	まとめ 提出したレポートの内容を共有しながら、講義内容を振り返る 【事前学習】 提出したレポートを振り返る（2時間） 【事後学習】 受講者と共有した内容について検討する（1時間）
	第16回	総括（テスト） 講義の理解度を確認する試験を実施する 【事前学習】 実施した講義の内容について振り返り、試験対策を行う（3時間） 【事後学習】 実施した試験の内容を含めて、講義内容を振り返る（1時間）
授業における具体的な特色や方法		1) アクティブ・ラーニングを促す取組 2) 情報リテラシーに関する科目 3) ICTの活用 4) 初年次教育

- ☐ グループワーク
☐ オンラインによる情報収集、プレゼンテーション
☐ Teamsによる資料の配布とレポートの提出

	5) 実践的PBL	【○】インクルーシブ教育を踏まえたプログラム作成
テキスト	なし。適宜資料を配布します。	
参考書	関朋昭編「体育・スポーツ・健康概論」ナカニシ出版 2023年	
評価方法	毎回の授業時に課すレポート（50%）と最終時に実施する試験（50%）で行います。また、それぞれの60%以上の点数の取得を条件とします。	
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：試験欠席・レポート未提出・出席不足	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【 】1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 【○】2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。 【○】3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 【 】4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 【○】5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。	
履修上の注意	1) 講義と演習との組み合わせによって講義が構成されています。事前学習を行い準備をして講義に参加してください。また、事後学習を行い学習内容を整理してください。 2) 体育館で演習を行う場合は、運動に適した服装で参加してください。体育館シューズも用意してください。 3) 資料の配布や連絡は、Teamsを利用します。初回の講義で説明しますので登録をお願いします。	
オフィスアワー	1) 授業前後 2) クラスで利用するTeamsのチャット機能、または y-tomoko○ocjc.ac.jp (○→@)	
課題に対するフィードバック方法	授業内で実施します	

講義科目名称： 英語

授業コード：

英文科目名称： English

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	1年次	2単位 (0-2)	選択必修科目：
担当教員			
浜川 仁・仲座 栄利子			
授業形態：演習	ナンバリング：FLS1191111		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【授業のテーマ】 基礎的な英語スキルを学び直し、間違いやすい文法項目を正しく自信を持って使えるようになる。 【到達目標】 <知識・理解の観点> ・基本的な英語コミュニケーション能力を身につける。 ・異文化や多様性にふれ、理解や受容を深める。 <技能の観点> ・基本的なコミュニケーションを英語で行うことができる。 <態度の観点> ・考え方の違いを尊重することができる。		
授業の概要	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法問題を通して総合的に英語学習に取り組む。		
授業計画	第1回 オリエンテーション／Unit 1 Unit 1 See You Soon 現在形と現在進行形 ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間） 第2回 Unit 2 Welcome to Japan! 数えられる名詞と数えられない名詞 ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間） 第3回 Unit 3 Sandy's First Sushi 代名詞の使い分け ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間） 第4回 Unit 4 Festival Fun 形容詞と副詞 ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間） 第5回 Unit 5 Play Ball! 場所の前置詞と時の前置詞 ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！		

	All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間）
第6回	Unit 6 Lucky Cats Yes/No疑問文とWh疑問文 ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間）
第7回	Unit 7 No One Sings Like Brian 他動詞と自動詞 ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間）
第8回	Unit 8 Yui's Cooking Class 不定詞と動名詞 ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間）
第9回	Unit 9 Where's Sandy? 過去形と過去進行形と現在完了形 ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間）
第10回	Unit 10 Let's Take a Hike willとbe going to ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間）
第11回	Unit 11 Time for a Tour 助動詞の使い分け ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間）
第12回	Unit 12 Photos from Hakone 比較級と最上級 ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間）

	第13回 Unit 13 Sho' s Barbecue Party 能動態と受動態 ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間） 第14回 Unit 14 On the Go 接続詞の使い分け ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間） 第15回 Unit 15 Sandy' s Farewell Dinner 関係詞の使い分け ☛ CheckLinkで理解度をCheck！ Conversation / Grammar Check / Short Conversations / Short Q&A / Short Reading ☛ ライティングにチャレンジ！ All Write 【事前学習】 Target Grammarを読んでGrammar Checkを解いてみる。（2時間） 【事後学習】 文法項目とUnitの単語を復習する。（2時間） 第16回 なし
	授業における具体的な特色や方法 1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【○】 3) ICTの活用 【○】 4) 初年次教育 【○】 5) 実践的PBL 【○】
	テキスト English Contrasts. Robert Hickling. Kinseido, 2022.
	参考書 特になし
	評価方法 演習と課題（50%） クイズ(40%) 授業への参加度（10%）
評価基準	成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) —：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【○】 1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 【○】 2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。 【○】 3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 【○】 4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 【○】 5. 学則に定める修業年限を満了し、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。
履修上の注意	・演習や課題には積極的に取り組んでください。 ・正当な理由以外での欠席は認められません。欠席届は、その理由が「公欠」にあたる場合にのみ提出してください。出席状況については各自で管理・確認してください。 ・クイズを行う際には必ず事前にお知らせします。追試は行いませんので、自身の体調管理はしっかりと行い、理由のない欠席はしないようにしてください。 ・辞書機能の利用、演習や課題の際にはスマートフォンの使用は許可します。 ・授業とは関係のない用途で携帯を使用している、居眠りをしている等、授業不参加の態度が続く場合は欠席扱いとします。 ・授業連絡はTeamsを使用しますので、必ず確認してください。
オフィスアワー	浜川 仁：木曜日2限目（10：40～12：10） 仲座 栄利子：月曜日2限目（10：40～12：10）
課題に対するフィードバック方法	・

講義科目名称： コンピュータリテラシー

授業コード： 1004A 1004B

英文科目名称： Computer Literacy

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	1年	2単位(0-2)	必修科目 (教養教育)
担当教員			
内間 清晴・浜川 仁			
授業形態：演習	ナンバリング：ITL111301		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	PCの基礎的操作方法を習得させる。具体的にはワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の分析方法等が実践的に修得できる。 (1) 基本的な情報倫理が理解でき、情報化社会へ倫理感を持って参加できる。(態度) (2) 電子メールの送受信・転送設定等ができる。(技術・表現) (3) 150字以上／1分間のタイピング能力を身につけることができる。(技術・表現) (4) インターネットを活用し、基礎的な情報収集ができる。(知識・理解) (5) ワープロによる文章の作成ができる。(知識・理解) (6) 表計算ソフトによる数値情報の分析ができる。(知識・理解)
授業の概要	① 本授業では、ワープロソフト、表計算ソフトに実際に触れながら、各ソフトウェアの操作方法を修得する。授業内容は、文書の作成、基本的なデータの集計などを行う実技形式での授業となる。ソフトウェアとしては、Microsoft社のワープロソフトであるWord、表計算ソフトであるExcelを使用する。 ② 早くて確実な文字入力ができるように。毎授業の最初の10分間はタイピングソフトを使用し、タイピングの練習を行う。(トータルで3時間以上のタイピング練習を行い、1分間で150文字以上の入力速度を目標に取り組んで下さい。) * 毎回の演習内容を復習し次回の演習の予習を行う。(15回分の講義内容はTeamsを通して配布いたします。) * 各講義の初めに、プロジェクターを使用し、講義内容の説明を行う。 * 講義時において、教師と学生の双方向(1対1)にコミュニケーションができるコールシステムを使用し、学生の質問に答える。
授業計画	第1回 オリエンテーション：①使用登録・パスワードの設定 ②電子メールの設定 ③Windowsの基本操作 ④タイピング ① PC(パーソナルコンピュータ)へのログイン、パスワードの設定方法、電子メールの使用の方法、PCのOS(オペレーティングシステム)であるWindowsの基本操作、WordやExcel等のソフトウェア、デスクトップ、プリンター等のハードウェア、インターネットでの検索方法を学ぶ。 ② 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間) 第2回 パソコンの概念及びWord2021：①OSの種類 ②ソフトウェアとハードウェア ③フォルダの作成 ④基本的な情報倫理 ⑤基本的な文書作成 ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。(10分) ② WindowsやMac(マッキントッシュ)等のOS(オペレーティングシステム)の種類、WordやExcel等のソフトウェア、デスクトップやプリンター等のハードウェアについて学ぶ。 ③ 情報が氾濫する現代社会における基本的な情報倫理について学習する。 ④ Word2021を起動させ、文書入力の一連の基本操作を学習する。 ⑤ 文書を作成し、学生各自のUSB内に作成したフォルダへの保存方法を学習する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間) 第3回 Word2021：①Wordの基本操作 ②文章の作成および保存(USBメモリー等) ③文字のデザイン ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。(10分) ② Word2021を起動させ、ページレイアウトを設定し文書を作成する。作成した文書のいろいろな保存方法およびファイルの種類を表す拡張子について学習する。 ③ 入力した文書を見やすくデザインする方法を学ぶ。 ④ フォントデザインや行揃え行間設定等のスタイル変更方法を学ぶ。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間) 第4回 Word2021：Smart Artによるデザイン ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。(10分) ② SmartArtによるデザイン方法を学習する。 ③ SmartArtを使用してテキストの表現力を高め方法や色やスタイルについて学習する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)

第5回	Word2021：テキストボックスのデザイン・レイアウト，ビジュアル要素の設定（チラシ作成・ポスター作成） ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② テキストボックスをデザインレイアウトする方法を学習する。 ③ 可能性の高いデザインを使用する方法を学習する。 ④ テキストボックスでのレイアウト、均等割付け、割注等の設定、図形の挿入、テキストボックスのスタイル変更およびモニターの画像の文書内貼付け等について学習しポスターを作成する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）
第6回	Word2021：段組み ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② 段組みを設定する方法について学習する。 ③ 入力した文書の段組みについて学習する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）
第7回	Word2021：縦書きレイアウト ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② 入力した文書の段組み、ヘッダー・フッターの設定、縦書き2段組みレイアウトについて学習する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）
第8回	Word2021：表の作成および編集 ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② 表を作成し、行と列の挿入およびセルの分割・結合、表のテキストボックス化等の表の編集方法について学習する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）
第9回	Word2021：ハガキのデザインおよび名刺の作成 ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② ページをハガキや名刺サイズに設定し、挨拶文の自動入力の方法や名刺ラベル作成方法を学習し学生各自の名刺を作成する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）
第10回	Excel2021：Excelの基本操作およびデータ入力 ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② Excel2021を起動し、画面の名称と機能について学び、実際にデータを入力し、セル幅・高さの変更および数値の表示形式の変更等について学習する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）
第11回	Excel2021：計算式および関数設定 ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② 計算式（数式）の入力方法、計算式のコピーおよび関数設定方法を学び、関数を使用してのワークシート内の計算方法（合計、平均、最大値および最小値）を学習する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）
第12回	Excel2021：データの条件設定 ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② データに条件を設定し判断や判別をさせる方法について学習する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）
第13回	Excel2021：集計表およびグラフ作成 ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② セルにデータを入力し、合計と平均等の同時設定や絶対参照の設定方法について学び、入力したデータから棒・円グラフ等の作成方法を学習する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）
第14回	Excel2021：データベースの構造 ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② データベースの構造について学び、データベースの並べ替え、データの検索および抽出方法を学習する。 【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間）

	【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間） 第15回 Excel2021：IF関数の条件設定 ① ミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。（10分） ② IF関数を使ったデータベースの管理方法を学習する。。 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間） 第16回 なし
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 ☐ 2) 情報リテラシーに関する科目 ☐ 3) ICTの活用 ☐ 4) 初年次教育 ☐ 5) 実践的PBL ☐
テキスト	定平誠『例題50+演習問題100でしっかり学ぶWord/Excel/PowerPoint標準テキスト(Windows11対応 office 2021対応版) 2022年 技術評論社
参考書	よくわかるWordデータ, よくわかるExcelデータ
評価方法	課題/タイピング能力・・・90% 授業への参加意欲・・・10%
評価基準	各評価方法に関してループリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 ※遠隔授業の場合、評価方法を変更するため、ループリックについても変更あり。詳細は講義内で説明。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(保育科) ☐ 1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 ☐ 2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。 ☐ 3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 ☐ 4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 ☐ 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。
履修上の注意	・各自USBメモリーを準備すること ・演習の授業です。受け身にならず、積極的に課題に取り組んで下さい。 ・毎回の演習内容を復習し次回の演習の予習を行う。 ・授業態度が悪い場合には程度の応じて減点します。
オフィスアワー	水曜日 4 限目 内間研究室 上記の時間以外でも対応可能（事前予約必要）
課題に対するフィードバック方法	提出された課題は担当教員がチェックし、提出した課題の内容が不十分な場合には、改善点等を説明し再提出してもらいます。